

## 農業後継者育成基金事業

平成24年度農業大学校助成事業（実践力育成助成）

事業主体名 農業大学校農学部果樹科

### 1 目的

本県のキンカン是全国第2位の生産量を誇り、川薩地区及び南さつま地区のハウスキンカンが「かごしまブランド」として指定されている。県内各産地のハウスキンカンは11月から翌年の3月まで出荷されているが、単価の高い11～12月の年内収穫果率を高めることが経営の安定上重要である。年内出荷率を高めるためには、一番花（果）の割合を高めるほかに果皮の着色を進めることも必要となる。

### 2 実施状況

#### (1) 着色促進試験の実施

植物成長調整剤「エスレル10」とタイベックシートマルチの組み合わせによる着色促進効果を検討した。収穫直前である12月12日の着色調査では、エスレルの散布の方がタイベックシートの設置よりも着色促進効果が大きかった。



#### (2) 現地調査の実施

南九州市の先進農家の現地調査を平成24年7月及び平成25年3月に実施した。ハウスキンカンを柱とした経営内容のほか、特に3月の調査では、農家が実際にせん定作業を行う様子を観ることができ、プロジェクトほ場の管理作業を進める上でたいへん参考となった。



### 3 今後の課題、取り組み

一番花（果）の着果を安定させる。  
摘果を徹底し、小玉果を除去する。